

# われもこつ 第10号

2001年4月22日発行

春です！ 春がやつときました。

雪の多い冬でしたね。お元気みなさん、雪かきでましたか？雪かきで腰を痛めたりしませんでしたか？

中軽の畑で、たくさんの花の苗を育てようと思っています。いつでも花が必要になった時に、すぐに植えられるようにです。

軽井沢の野草の苗や種を持っていらしゃる方はぜひ会にください。たくさん増やして、町中の空地进行、軽井沢の花で埋め尽くしたいのです。むかしの軽井沢のように！

土の下では、色々な花たちが、今や遅しと自分の出番を待っています。今年は、どんな花が咲くか、楽しんです！

地域通貨「われも」システムが始まります。（くわしくは、中ページを。）忙しい方もぜひ会員になってください。あなたの会費が「われも」になって、「われもこつ」の会と地元のお店をつなぎます。

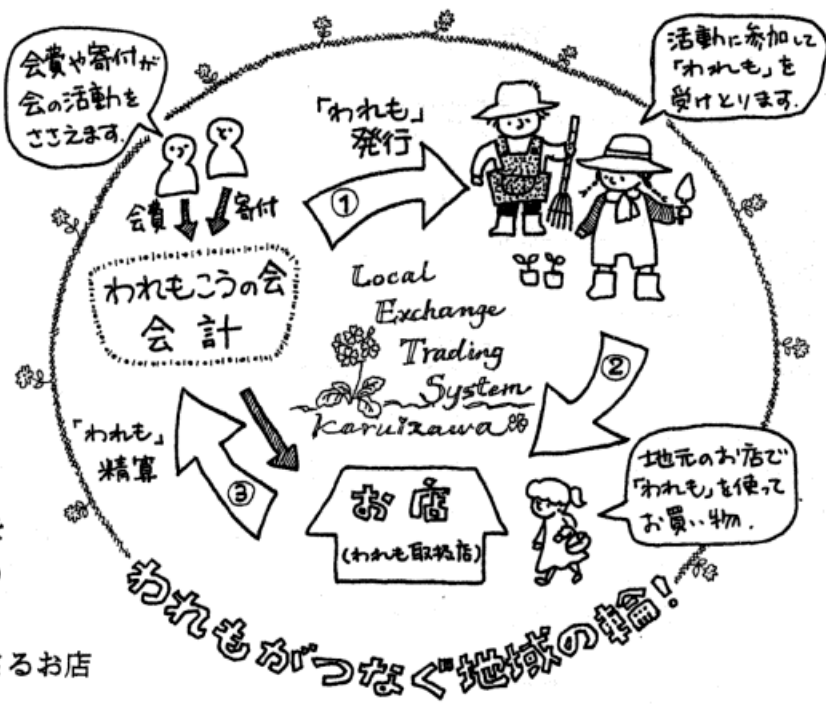
「われもこつ」は、きょうもすこーしだけ花を植えます。

# 2001年「われも」がはじまる



「われも」とはわれもこうの会が発行する地域通貨の単位です。  
 会の活動に参加した会員は1時間につき1 **われも** 受け取って、  
 軽井沢町内の「われも」取扱店でお買物時に使用できます。

「われも」発行の目的は、①活動に参加する人にごほうびの  
 役目…参加者を増やしてたのしい活動を！、②活動に参加  
 できない人も会費や寄付を通して会の活動に貢献できます。  
 ③「われも」を地元のお店で使ってコミュニケーション。い  
 きいきとした町づくりに役立っています。



## 地域通貨を育てよう！

今年度は、1 **われも** = 200円で試験的に開始します。  
 ゆくゆくは他のボランティアグループの皆さんも「われも」を  
 利用したい！ と思って下さるような地域通貨に育てていこう  
 とがんばります。

また「われも」の取扱店になって、会の活動を応援して下さい  
 (軽井沢町内の小売店や飲食店など) 募集中です。

- おらが製菓  
 みのる写真  
 喫茶ラズベリー  
 十二屋商店  
 やおふく  
 ルナ美容室  
 松屋本店  
 アラガール  
 サクライカメラ  
 アントワープ  
 シェ・カジワラ  
 喫茶らんぶ  
 るく亭  
 高橋薬局  
 アイバ理容院  
 花企画  
 コフル いまい  
 アビーハウス1990  
 キリマン酒店  
 さとう肉店  
 ヤオトク

われも取扱店



**自** 分の身近にある空き地を利  
 用し、野草の苗や種を育て、  
 もっと早くたくさん野の花を増や  
 したいですね。

**楽** しい会にしていきたいです  
 ね。

**学** 校の土手を利用して、野の  
 花を育てれば、子供たちや  
 観光客に軽井沢の花を楽しんでも  
 らえるし、ススキ、オミナエシ、  
 ハギ、キキョウ、アザミなど、昔  
 からの花は日本の文化を伝えてい  
 くことになるのかもしれない。

**な** んといっても、野の花の美  
 しさは混じり合って咲くと  
 ころではないでしょうか。

**将** 来、会が大きくなったら軽  
 井沢にどのくらい空地があ  
 ったどんな植生になっているか調  
 べたいですね。

**ま** ちに生えている、アレルギー  
 ーの原因になるような帰化  
 植物を抜くような活動は行なえま  
 せんか？(われもこう)について

**東** 京にいて読ませてもらって  
 いますが、みなさんの一所  
 懸命な気持ち伝わってきてとて  
 もたのしいです。

**作** 業には出られないけれど、  
 2000円払っても読む価  
 値のある「われもこう」です。

**大** 判になるそうですね。期待  
 しています。





軽井沢町は1999年にカナダのウイスラー市と姉妹都市となりました。  
ウイスラーは世界中から、スキーヤーをはじめ、たくさんの観光客がきます。

3月下旬、子供たちの春休みにあわせて、姉妹都市ウイスラーで家族スキーを楽しんだ。北米で最高の人気を誇り、世界各地から200万人近いスキーヤーを集めるスキーエリアは快晴無風、上々の雪質で私達を迎えてくれた。  
標高差1600M、コース数200以上という広大なゲレンデを3日間滑りまくったおかげで筋肉痛と日焼けに見舞われたけれど気分は最高。岩峰直下、樹木の間、岩の間、雪のあるところすべてが滑走可能となっていたのにはちよつとびつくりした。日本であれば、その大半が侵入禁止の看板とロープで囲まれているはず。自己責任原則という考え方の故か。景観という観点からは好ましいのだけれど、高山植物等への影響はどうなのかやや気にかかった。レストハウスの汚水、雑排水処理方法等とあわせ、機会があれば確認してみたいと思っている。

宿泊は、料金の安いコンドミニウムタイプを手配したのだが、大型冷蔵庫、食器洗浄機、2つのバスルーム、洗濯室ありで、マーケットで食材を買い込み調理は自由自在。スキー靴のまま部屋まで入れるシステムもありが良かった。  
長期滞在しても飽きぬ仕掛けと施設、そして何よりも世界各地からのお客様に心地よく過ごしていただきたいたいという心遣いがありとあらゆる場面で関わってることが素晴らしかった。  
リゾートとしての開発が始まってから25年程度とのことだが、同じリゾートとして軽井沢が学ぶべき点は数多いように感じられた。  
私達と同時期に軽井沢からのホームステイの子供たちが滞在していたが、今後も民間交流をどんどん進めていって欲しいと願っている。  
お互いの町民が訪問した際の特典(宿泊割引、入場料割引等)でも設けてくれたらもう1回行けるかな？

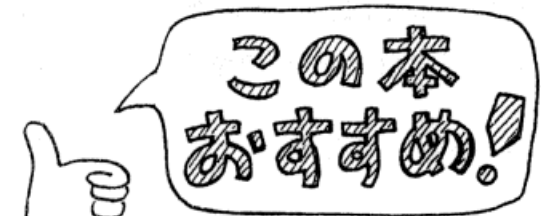


トラスト・フォー・アーバン・エコロジー編著  
『まちに自然をつくる』中央法規

この本は、「われもこうの会」のために書かれたのではないだろうか？イギリスにも同じようなことをやっている人たちがいた「スゴイー」トラスト・フォー・アーバン・エコロジー」という団体は、文字どおり訳せば、「都市環境のためのトラスト」。市街地の荒れ地を、市民の手で自然公園にようにみえらせる。

その組織作り(責任者の決め方、公報活動のやり方など)から実際の種まき、池の作り方、管理の方法まで、何でもきこまかく「バイブル」のように書かれています。

「自然保護を目的」として植生を創造するためであれば、在来種と同じ種であっても外来の品(種)は用いるべきでない。「客土は、むしろ肥沃な土壌でない



ほうがこのましい。「園路が安全で歩きやすければ、来園者はそれ以外は歩かないものである。」「むしろはじめは仮の園路として、来園者の動きに合わせて変更していく方がいい。」私たちが3年かかってやっと分かったことがさりげなく書いてあります。  
最近、東京の武蔵野市にも「生きものばんざいクラブ」という会が、われもこうの会のような活動をやっているのと聞きました。  
都市にも自然を回復できるのです！  
イギリスのボランティア団体には、良く知られているナショナルトラストの他にも、シビックトラスト、ワイルドトラスト、ENGLISH NATURE、LETSなど沢山あります。イギリスのボランティア活動の幅広さには、脱帽してしまいます。どこからこの創造性が生まれのでしょうか？

いつかイギリスに行ったら、この人達のところを訪ねて、仲良くなりたいものです。

地球のアチラ側にも同じことをやっている友達がいるんですね。



## 軽井沢で見かける帰化植物（その2）

### ハルザキヤマガラシ〔別名セイヨウヤマガラシ〕

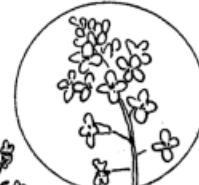
この二～三年、軽井沢町内でもたくさん見かけるようになりました。

国道沿いや空き地などに、春先ハッとするような鮮やかな黄色い花をつけるのでよく目立ちます。

ひきぬこうとしても なかなか抜けない程しっかりした根を持っていて、「さすが帰化植物！」と感心してしまいます。

あまりに強い生命力と、空き地などへの進入力が強いので他の在来種の植物を駆逐してしまうおそれがあります。

帰化植物は 知らない間にどんどん増えています。もし見つけたら、それ以上増えないようにするためと、他の植物のためにも、ぜひ採ろうではありませんか。



↑  
きいろの  
十字形の花



ハルザキヤマガラシ（アブラナ科）  
〔春咲山芥子〕  
☆花期 4～6月  
☆莖丈 50cmくらい



「原っぱ」3ヶ所に 念願の  
看板ができました！  
会員お手製、木彫り、しかも  
植物性の防癌剤を使用しました。

### 軽井沢の貴重植物

### アサマフウロ

（ふうろう科 ふふうろうそう属）

Geranium soboliferum Komarov

開花は7月から9月

花色は濃いピンク

ゲンノシヨウコの仲間やや湿った場所を好みます。

他に（タチフウロ、ハナフウロ、カタカナ）などがあります。

ゲンノシヨウコより花が大きいのも特徴です。（こどもたちは、「ゲンノシヨウコのきれいな」と呼んでいたそうです。このことから分かるように、この仲間の中では最も美しい花です。

和名に「アサマ」とつくことから分かるように、1894年（明治27年）に軽井沢町追分で発見された植物です。

20～30年程前は、追分、古宿あたりにたくさん咲いていました。しかし今はサクラソウよりも絶滅の危険の多い、絶滅危惧種B類になってしまいました。

日本では那須・白河・浅間山・八ヶ岳・霧ヶ峰・

富士山麓などに飛び飛びに分布していたのですが、大陸の北朝鮮や中国にもあり、地球が寒かった氷河気候の生き残りで見られています。（このことから、「大陸要素」といわれることがあります。）昔はアカツメグサとアサマフウロを混ぜて花飾りを作り、あそんだりしました。きつとステキな髪飾りになったことでしょうね。（秋には、ほそながい種を口びるにつけてふざけたりしたそうです。昔の子どもは、自然の中でのびのびと遊んでいたのですね。）

※原寛・佐藤邦雄・黒沢幸子『軽井沢の植物』、中村浩志編著『軽井沢の自然』、会員の想い出を参考にしました。





# 野の花の世話をしよう!

## <スケジュール>

5月 9(水)・27(日)

6月 6(水)・17(日)

7月 4(水)・15(日)

時間/午後1:30~3:30

集合場所/水曜日は市村の原っぱ

日曜日は前沢の原っぱ

\*ただし、活動の内容や天候によって変更する場合があります。

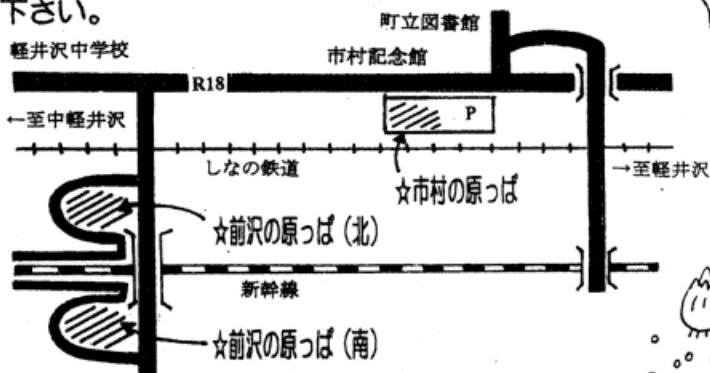
服装/働きやすいかっこうで。

日除けの帽子や軍手、長靴。

持ち物/スコップやくわなど。

野の花を咲かせるための、土いじりの後には、  
毎回少々のイベントを考えて行きたいと思っています。

今回は草花のスケッチをしたいと考えています。  
ちょっとした成長記録になるかもしれませんね。  
スケッチブックやお好きな画材(色鉛筆など)を  
お持ち下さい。



小さな小さな

編集室

3月下旬、前沢の原っぱにはクロカスの花が一番に咲きました。  
他の草花もかわいらしい芽をのぞかせています。

21世紀の活動もいよいよ始まります。

消え行く軽井沢の花々を残すため、気持ちを新たにして、  
やっつけていきましょう。

発行/「われもこうの会」

事務局/TEL.0267-46-2393 FAX.0267-46-2370

